

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	今後も水害の対応について避難を含め、安全を確保できるような体制を構築する事を期待する。	水害などによる避難先を繰り返し訓練を行う。 備蓄品の管理を行う。	施設内で実際に想定した、避難場所や避難経路の確認を行い避難生活を行うことを想定とした備蓄品の増量を行う。	6ヶ月
2	39	災害により事業所で避難になった際の備蓄について、法人だけでなく、事業所で必要な分も検討して備蓄することを期待する	利用者・職員の安否確認はもちろん、地域職員の情報収集によって、速やかに非難ができるような体制の整備もおこなう。備蓄について適切に管理できる。	グループホームに隣接しているショートステイの協力体制確認と近隣のグループ会社への感染対策を踏まえた避難場所も検討し計画を立て実施してみる。非常用の備蓄を用意する。	12ヶ月
3					12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。